



	指導内容 【年間授業計画】	科目「建築実習」の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
11 月	※3班に分かれ、以下の3課題をローテーション学習する。 A. 施工実習 ○鉄筋組立作業 ○型枠組立作業 B. 計画実習 ○人工照明の測定 C. CAD実習 ○外観パースの作成 ○中間ファイルの応用	A. 施工実習について ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ○鉄筋・型枠の組立方法を理解する。 ○鉄筋・型枠の組立が設計図面の寸法を満足しているか確認できる。 B. 計画実習 ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ○照度計の正しい使用方法を理解する。 ○測定結果と、環境基準値と照らし合わせ、室の採光性能を検討する。 C. CAD実習について ○CADのレイヤー・線種・線色などを理解できる。 ○木造住宅の建築に必要な知識と技術を理解する。 ○建築図面を正しく読み取ることができる。 ○複写、伸縮、包絡などCADの持つ機能を十分に活用することができる。 ○データの共有化により作業効率が向上することを理解する。	○レポートやCAD図面の提出物評価、学習の取組み状況などを総合的に評価する。	12
12 月				3
1 月				6
2 月				0
3 月				0